

Mobile Solution

AIMEX Corporation

# 個人番号カード交付業務用 二次元コードスキャナご紹介資料



アイメックス株式会社

## カード発行一覧表データのシステムへの登録方法①

カード発行一覧表のデータの中から次のデータをシステムに登録する

- 申請書ID
- 氏名
- 生年月日 (EYYYYMMDD: 先頭1桁は年号コード)
- 点字有無兼証明書有無

### 方法①: Web上の入力画面より、手入力する

#### <メリット>

- 新たな機器を購入する必要がない

#### <デメリット>

- 手入力のため、入力ミスが出る
- 入力ミスをなくすために確認に時間がかかる
- 生年月日は一覧表上の和暦から西暦に変換して入力する必要があり、作業が煩雑的になり、ミスが増える
- 生年月日の前1桁に年号コードを付けるのが手間である

→膨大な時間と労力が必要となり、多額のコストが必要となる

## カード発行一覧表データのシステムへの登録方法②

方法②:カード発行一覧表のQRコードを読み取って入力する

<メリット>

- 入力ミスが無い
- 入力時間が速い

<デメリット>

- 読み取れる二次元コードスキャナを探して購入する必要がある

→小額の投資で入力作業を迅速に、ミス無く行なうことができる。

<結論>

二次元コードスキャナで入力作業を行なうことが最適である

## 二次元コードスキャナ導入のポイント

カード発行一覧表に印刷されているのQRコードの特徴は、次のとおりである

- 一般的なサイズより大型で高密度である  
→読取可能なQRコードスキャナが限られている
- 文字コードにUTF-8を使用している  
→一般的な日本語変換機能ではないため、そのまま読み取ると文字化けを起こす  
→特殊なUTF-8の変換ソフトが必要である
- CSV形式のファイルでシステムに送信する必要がある  
→都度、EXCELやメモ帳を開いてスキャンし、名前を付けて保存する必要がある



**読取検証され、且つ特殊な文字変換に対応した  
二次元コードスキャナを購入する必要がある  
更に、CSVファイルの作成機能があるとベストである**

# CR1500-MN1の特長

## 「個人番号カード交付」管理業務用二次元コードスキャナセット

### ◆QRコードの読取検証済み◆

→CR1500は通常のスキャナと異なり、DFO(二重焦点レンズ)の搭載により、幅広のバーコードから高密度な二次元コードまで対応したスキャナであり、カード発行一覧表に印刷されている大型で高密度なQRコードの読み取りに適した二次元コードスキャナである。

### ◆UTF-8変換ソフトをセット◆

→カード発行一覧表のQRコードで採用されている、特殊な文字コードであるUTF-8に対応した変換ソフトを標準で付属しているため、文字化けを起こさず、漢字データも正しく入力される。

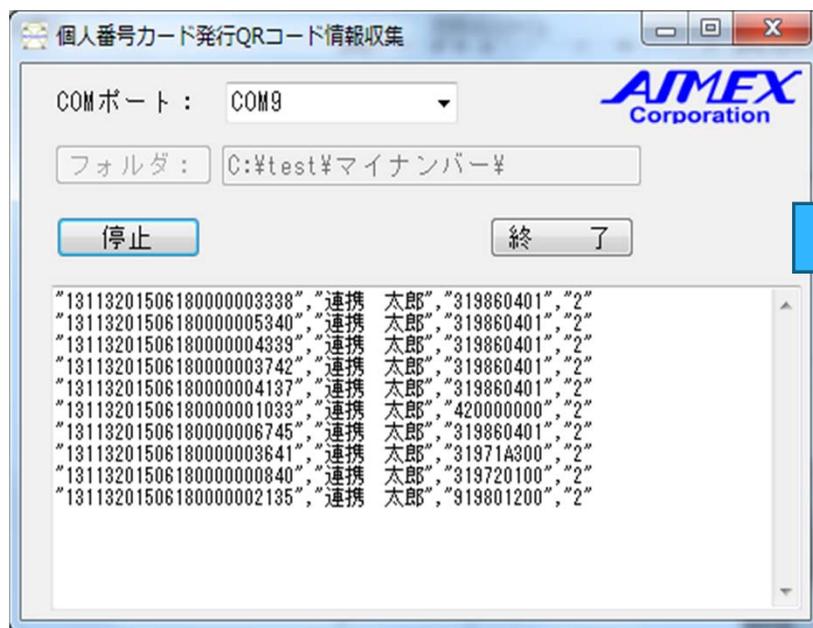
### ◆CSV作成ソフトをセット◆

→QRコードを読み取るだけで、自動的にCSVファイルを作成します。  
ファイル名は読み取り時の日時分秒を自動的にセットします。

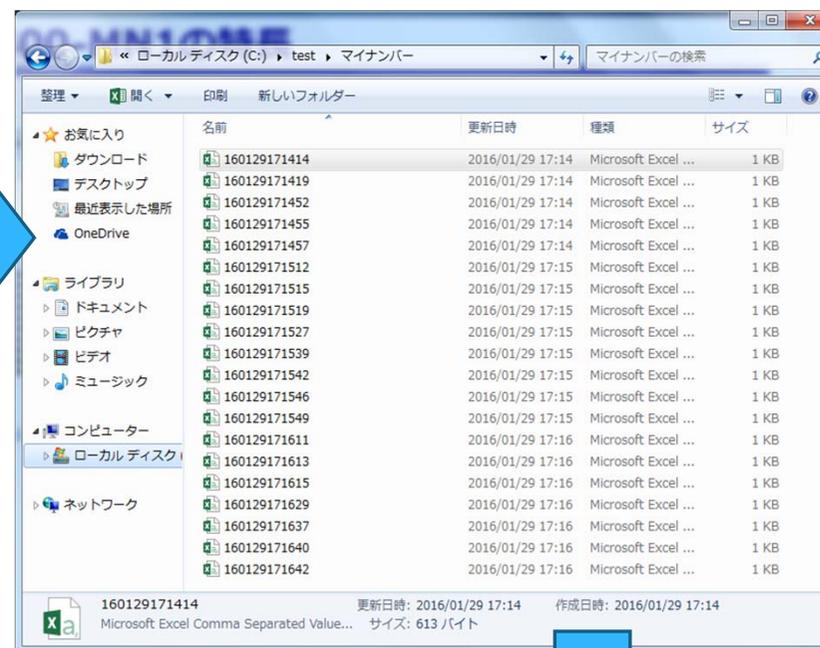
# CR1500-MN1の機能

QRコードを読み取るだけで、次の動作を自動的に行ないます

①読み取りデータの内容を表示



②自動的にCSVファイルを作成



<ファイル内容例>

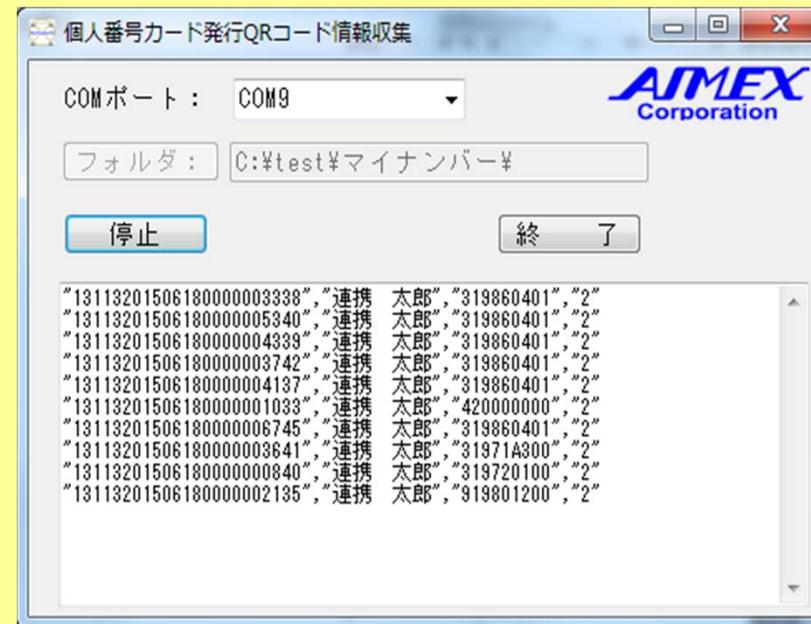


# CR1500-MN1パッケージ内容

二次元コードスキャナCR1500  
(専用USBケーブル付属)



UTF-8変換・CSVファイル作成ソフト



その他

- ・USB仮想シリアル用Windowsドライバ
- ・ハードウェア、ソフトウェアマニュアル